



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月8日

上場会社名 昭和鉄工株式会社 上場取引所 福  
 コード番号 5953 URL <http://www.showa.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 福田俊仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 一木和弘 (TEL) 092-651-2933  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	6,457	37.5	303	—	287	—	221	—
28年3月期第2四半期	4,696	△4.9	△150	—	△124	—	△140	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 305百万円(—%) 28年3月期第2四半期 △193百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	27.18	—
28年3月期第2四半期	△17.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	13,919	3,139	22.6
28年3月期	14,588	2,875	19.7

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 3,139百万円 28年3月期 2,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,200	11.8	330	56.3	320	58.2	240	320.6	29.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	8,970,000株	28年3月期	8,970,000株
29年3月期2Q	824,629株	28年3月期	823,752株
29年3月期2Q	8,145,664株	28年3月期2Q	8,150,710株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による各種経済対策の効果もあり、雇用・所得環境の改善が続いています。一方で、中国をはじめとする新興国や資源国等の景気の下振れや英国のEU離脱問題等に伴う世界経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動さらには平成28年熊本地震の影響も懸念されており、引き続き景気下押しへのリスクを抱える状況で推移しました。

このような情勢の中で当社グループは、中期経営計画「本業回帰で筋肉質な企業体質を実現する！」の2年目の年として、平成31年度までに連結売上高120億円以上、安定的に連結売上高営業利益率4%以上を実現するため、重点課題である「事業の選択と集中」、「差別化新製品の開発」及び「固定費の最小化」に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、64億5千7百万円（前年同期比37.5%増）となりました。

損益面につきましては、営業利益3億3百万円（前年同期は営業損失1億5千万円）、経常利益2億8千7百万円（前年同期は経常損失1億2千4百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億2千1百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億4千万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ・機器装置事業

機器装置事業につきましては、熱源機器は「業務用エコキュート」が市場環境の変化により低調に推移しましたが、空調機器は「エアハンドリングユニット」や「ファンコイルユニット」の取替需要の増加により売上を伸ばすことができました。環境機器は電気ヒーターを中心に堅調に推移し、サーモデバイス機器は熱処理炉の売上増加により好調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は44億8千1百万円（前年同期比56.2%増）となりました。

#### ・素形材加工事業

素形材加工事業につきましては、鋳物品は堅調に推移しましたが、景観製品は橋梁用防護柵を中心に低調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は7億6千2百万円（前年同期比10.1%減）となりました。

#### ・サービスエンジニアリング事業

サービスエンジニアリング事業につきましては、有料サービスや設備工事の売上増加により好調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は12億1千3百万円（前年同期比24.0%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産・負債・純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億6千8百万円減少し、139億1千9百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が2億9千万円、投資有価証券が1億2千5百万円及び流動資産「その他」が2千6百万円増加した一方、現金及び預金が7億8千4百万円、有価証券が2億円及びたな卸資産が1億3千9百万円減少したことによるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べ9億3千2百万円減少し、107億8千万円となりました。主な要因は、短期借入金が6億5千万円、長期借入金が2億6千万円、支払手形及び買掛金が2億2千8百万円が減少したことによるものであります。

純資産については、前連結会計年度末に比べ2億6千4百万円増加し、31億3千9百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が1億8千万円、その他有価証券評価差額金が9千1百万円及び退職給付に係る調整額が5千6百万円増加した一方、為替換算調整勘定が6千4百万円減少したことによるものであります。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ7億8千4百万円減少し26億6千8百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### ・営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果獲得した資金は8千8百万円(前年同期は7千4百万円の支出)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2億8千7百万円、たな卸資産の減少1億3千9百万円、減価償却費7千7百万円、その他資産・負債の増減額による9千2百万円による増加と、売上債権の増加額2億6千5百万円、仕入債務の減少額2億2千8百万円による減少であります。

#### ・投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果獲得した資金は8千3百万円(前年同期は1億5千6百万円の獲得)となりました。これは主に、有価証券の償還による収入2億円による増加と有形及び無形固定資産の取得による支出1億1千5百万円による減少であります。

#### ・財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果支出した資金は9億5千6百万円(前年同期は5千8百万円の支出)となりました。これは主に、短期借入金返済の支払額9億円による減少であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成28年11月2日公表時から変更しておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

### (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,545	2,761
受取手形及び売掛金	3,080	3,370
電子記録債権	278	253
有価証券	400	200
商品及び製品	242	308
仕掛品	1,129	940
原材料	331	314
その他	64	91
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	9,069	8,238
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,581	1,611
その他(純額)	949	1,034
有形固定資産合計	2,531	2,646
無形固定資産		
	43	44
投資その他の資産		
投資有価証券	2,415	2,540
その他	555	477
貸倒引当金	△26	△27
投資その他の資産合計	2,943	2,990
固定資産合計	5,518	5,681
資産合計	14,588	13,919
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,875	2,647
短期借入金	4,420	3,770
未払法人税等	67	73
その他	935	1,106
流動負債合計	8,299	7,597
固定負債		
長期借入金	850	590
退職給付に係る負債	2,175	2,143
繰延税金負債	41	75
その他	347	374
固定負債合計	3,413	3,183
負債合計	11,713	10,780

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,641	1,641
資本剰余金	1,225	1,225
利益剰余金	556	737
自己株式	△147	△147
株主資本合計	3,276	3,456
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	135	227
為替換算調整勘定	109	45
退職給付に係る調整累計額	△646	△589
その他の包括利益累計額合計	△400	△317
純資産合計	2,875	3,139
負債純資産合計	14,588	13,919

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	4,696	6,457
売上原価	3,761	4,949
売上総利益	934	1,507
販売費及び一般管理費	1,084	1,203
営業利益又は営業損失(△)	△150	303
営業外収益		
受取利息	9	6
受取配当金	27	30
持分法による投資利益	3	-
その他	28	14
営業外収益合計	69	52
営業外費用		
支払利息	37	33
為替差損	1	18
持分法による投資損失	-	12
その他	5	5
営業外費用合計	43	69
経常利益又は経常損失(△)	△124	287
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△124	287
法人税、住民税及び事業税	15	65
法人税等合計	15	65
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△140	221
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△140	221

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△140	221
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△87	91
退職給付に係る調整額	26	56
持分法適用会社に対する持分相当額	6	△64
その他の包括利益合計	△53	83
四半期包括利益	△193	305
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△193	305
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整 前四半期純損失(△)	△124	287
減価償却費	75	77
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△22	24
受取利息及び受取配当金	△36	△37
支払利息	37	33
持分法による投資損益(△は益)	△3	12
売上債権の増減額(△は増加)	684	△265
たな卸資産の増減額(△は増加)	△458	139
仕入債務の増減額(△は減少)	△147	△228
その他の資産・負債の増減額	△81	92
その他	△7	-
小計	△85	135
利息及び配当金の受取額	37	37
利息の支払額	△36	△30
法人税等の支払額	△10	△62
法人税等の還付額	20	9
営業活動によるキャッシュ・フロー	△74	88
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△29	△70
定期預金の払戻による収入	29	70
有価証券の償還による収入	-	200
有価証券の純増減額(△は増加)	300	-
有形及び無形固定資産の取得による支出	△166	△115
有形及び無形固定資産の売却による収入	19	-
その他	4	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	156	83
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	△900
長期借入れによる収入	400	100
長期借入金の返済による支出	△410	△110
配当金の支払額	△40	△40
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△7	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△58	△956
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	22	△784
現金及び現金同等物の期首残高	2,440	3,452
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,463	2,668

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	機器装置事業	素形材加工事業	サービスエンジニアリング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	2,869	847	979	4,696
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7	9	27	44
計	2,877	856	1,006	4,741
セグメント損失(△)	△93	△49	△6	△150

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△150
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△150

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	機器装置事業	素形材加工事業	サービスエンジニアリング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	4,481	762	1,213	6,457
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	12	48	64
計	4,484	774	1,262	6,522
セグメント利益又は損失 (△)	332	△70	41	303

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	303
四半期連結損益計算書の営業利益	303

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。